

10/12(月・祝)14:00~16:00 陽明小学校 参加者 122名 発言者11名
...ご質問、ご意見 ...川西市教育委員会の説明

<地域の方>

統合後33年度、緑台小学校と陽明小学校を足して429名となっていますけど、27年度の陽明小学校あるいは緑台小学校の児童数が300と、どんどん減っていていると思うが、36年度とか40年度とか次の段階がまた来るんじゃないかと思うんですけど、その辺は教育委員会は、どのように考えていらっしゃるでしょうか。

今の傾向が将来にわたって続くと、当然考えられると思います。

基本的には、教育委員会が根拠としている、推計値がもとになります。市内には、当該地区の小学校の統合と、もう1地区あるんですけども、その小学校区の統合がはっきりしている段階で、それから先の話になりますけども、少子化がさらに進んで小学校が単学級になるという恐れ、また、中学校も非常に少なくなるという恐れは予想されています。

そのときの選択肢としては、コミュニティを超えて小学校を統合するのか、それともコミュニティの中の学校の存在を優先して、小中一貫の同じ施設の中で学校を作っていくのか、というような選択肢の他、種々視野に入れなければならないと考えております。

資料の一貫教育のところですが、就学前教育で幼小中連携推進教育となっていますが、グリーンハイツでは、松風幼稚園を廃止すると幼稚園がなくなりますが、それなのに、この「幼」というのは、これで挙げられた理由というのは何ですか。違和感があるんですけど。

幼稚園と保育所とこども園全体で、就学前教育を見直していこうというのが国の大きな流れの一つになっています。

それと、やはり小中学校との連携というのは欠かせないということで、今まで法律に基づいてやっていて、連携もしやすかったのでそういう手段をとっていたんですが、今後はさらに、民間も公立も含めた就学前教育と小中学校を連携していく必要があります。そのため、すぐ近くの公立幼稚園と公立保育所、更には民間の保育所と幼稚園というふうに、就学前教育の教育課程をきちっと揃えていくよう取り組んでいるところです。それが一段階終わった時点で、小学校との連携教育というのを考えていく予定です。

すでに計画されているということですか。民間の幼稚園と公立の小学校中学校との連携は、具体的に決まっているんですか。

小学校の連携というところはまだ決まっておりません。保育所は公立民間問わず連携されております。一方幼稚園は異なり、公立と民間でそれぞれの特徴がありまして、今後は、公立保育所、民間保育所、公立幼稚園、民間幼稚園を連携していこうということで、取り組まれています。

< 卒業生 保護者 >

一緒になった場合、来年度から希望者は、陽明小に来る可能性があるという話を聞いて、そういう場合に教職員の人数を補うとか、心のケアだとか、やはり今まで緑台小に通っていて陽明小にいくと全然雰囲気が違うっていう、合併した後ですけれども人数に応じての教師の数プラス、やはり心のケアとか、こんな問題が起こらないかという部分、学年主任の先生だけが全部それをするのではなくて、特別にそういう先生がついてくださらないと、子どもたちはなかなか落ち着かない、親御さんも落ち着かない、でも普通に勉強をしないといけないことはしないといけないんだから、それ以外の部分の教師の派遣ということも考えていただけないかなということと、小中一貫ということで国の施策かなんかで、川西も種々考えておられるんですけども、今から考えることではあると思いますが、十何年前にありました総合的な学習をみて、わたくしの子どもは、1年生からずっと総合的な学習で授業を受けて、学力について心配していたら、つい何年か前に、それ（総合的な学習）はやめるところになりましたよね。子どもはモルモットではないので、しっかりと川西市が小中一貫の校区を作りたいのであれば、それなりにそういう先生を育ててからやってほしいんです。

総合的な学習のように、どうしてよいかわからないような、それぞれの学校もどうしようというような、何年も手探りでやられてしまったので、とっても残念でした。たまたま、年の離れた上に子どもがおったので、その時代の子どもと、教科書の厚さがまったく違いました。ちょうど来られた先生が年頃の先生で、私も分厚い教科書でしたというのに、自分が教えるのは薄い教科書でどうしようか、みたいな感じだったので、本当に川西市の教師の質を上げていただきたい。そして合併した後の子どもたちの心のケア、保護者のケア、いろいろ問題が起こるといえるか、保護者の方にしたらわからない問題点があると思うんです。もう卒業した私たちは、想像でしかありませんので、保護者のみなさんをしっかりと、「こういうことがある、こういうことがある」ということをしてもらって、合併は在りきの話のようですから、しっかりと自分の子どもを守るのは親しかないので、しっかりとしてほしいなと思います。

教職員数というのは、学級数で決まります。それ以外に職員を配置できないかということですが、これについては検討していきたいと考えております。

子どもたちのケアということで、先ほどもスケジュールのところにもありましたけども、統合していきなり一緒になるのではなくて、一緒に授業をしたり、一緒に行事をしたりというような期間は必要で、そういうことを経て徐々に教職員同士も、子ども同士も交流を深めていくのではないかと。学校現場と十分に調整しながら進めていきたいなと思っています。

最後に、小中一貫教育について「総合的な学習」を例にしてお話になっていただきました。「総合的な学習」は学習指導要領の中での取り組みで、一定の狙いもあり批判もあったかなというふうに思っています。「小中一貫教育」もただ単にそれがバラ色であるというふうには思っていません。きちっとした土台作りが大切と思っています。

私も中学校の教員で、小学校の現場にも行ったことがあります。その時に、小中の教職員それぞれの6年間3年間という仕組みの中で行っているんですけども、そのつながり、

お互いをやっぱりもっと意識していく必要があるのなと痛感しております。

一つは子どもたちが、かつてに比べて早期に発達するようになってきているということで、昔、中学校でいるんなことが起こっていたのが、「小学校での低学年化」という課題があります。それと教育課程上、つながりというものをすごく意識しながらやらないとだめだなと。中学校の躰きは、小学校のどの段階で出てきているのかということをお互いに意識していくことが大事かなと考えています。

小中一貫教育の大きな柱として、出前事業みたいに突発的に行くのではなくて、日常的に、月曜日の3時間目は、小学校6年の何組に中学校の先生が来られるという形をとることによって、小学校の教員と中学校の教員と一緒に勉強をしたり研修をしたりというようなことが日常的に行われるようになるのではないかと、それが子どもたちの教育につながっていくし、質の向上につながっていくのではないかと、そういうふうに考えています。

更に、急に30年度に合体ということではなく、事前に28年、29年っていうふうに時間をかけて子どもたちのケアというか、安心して統合ができるように進めていきたいことと、全国的にこのような統合が進んでいることから、国の予算、県費で統合に関する加配があるのかどうか、今、研究を進めています。

もし、県でなくても市でということを一点目で、二点目は研修をしっかりと進めていくという、先生の質の向上に向けて、研修をしっかりと進めていこうと考えております。

小中の教育が一貫性のある、例えば小学校で分数を習うけど一回習ったら二度と習わないから、わからなかったという人もいたので、どこで躰いていたかが分かるように、先生がしっかり子どもたちを見ていただくか、先生の立場から小学校と一体にならないといけないというのではなくて、子どもたちの立場から小学校と中学校が一体にならないといけないというふうに、ぜひ考えていただいて統一していただけたら、きっと立派な子どもが育つのではないかと考えています。

<在籍 保護者>

川西市の特別支援については、すごくきちっとされているなと思って、日々感謝しております。今、陽明小学校は、特別支援の在籍の子は5名2学級、緑台小学校は在籍が5名3学級あります。統合の時に30年度はだいたい9名3学級と割出されているんですけど、私も他府県の小学校の特別支援の教員をしているんですけど、発達障害の子どもは変化に弱いという特徴を持っています。さきほど、お話にあったんですけども、統合にあたってはいろいろ一緒に授業をし合ったりとか教員の配置も考えますとおっしゃっていただいたので、そのあたりはとっても安心している部分でもあるんですけども、在籍の子どもの支援で私もクラスに入ることもあるんですけど、必ずしも在籍の子どもだけを見ているのではなくて、プラス「在籍はしていないんだけどフォローが必要な子」もたくさんいますので、そういう子の支援も常々しています。

統合をやった後もきっと、発達に課題のある子だけではなくて、通常の子でもそういう不安になったりとか考えられるので、数年間だけでも良いので、特別に教員数を増やしていただくとか、今、特別支援の学級担任の先生だけとかではなく、いろんな支援員さんもたくさんいてはるので、

きめ細やかに観ていただいているんですけど、統合後もできればそれ以上のフォローもしていただければ、子どもたちは安心かなと思えました。よろしくお願いします。

本市では、特別支援教育に関わって身辺自立、生活介助が必要な子に関しては介助員、それから各学校に1名ずつ生活指導相談員を配置しているのが現状です。先ほどのご意見をもとに、「はい、わかりました。増員します。」というご返事は難しいですけど、そういうことを含めて検討させていただきたいと思います。

<未就学・在籍 保護者>

今から3年間かけて統合していくにあたって、同じ先生を何人が確約していただいて、統合した時も陽明小学校、緑台小学校から何名ずつみたいな感じで残っていただけたりはするんですか。子どもたちのメンタル面っていう部分はすごい大事なところな気がしますし、あと伝統がどう受け継がれていくかって、そういうのになるのであれば、できれば先生方に、この先生とこの先生とこの先生とってみたいな感じで、個人的にちゃんと約束していただいて、統合後も異動はせずについていただけるとお願いしたいです。そんな簡単なことじゃないと思います。たぶん先生方の異動とか離職とかいろいろあると思うんですけども、統合するんだったら最低限そういうことをお願いしたいなと思えました。

確約は難しいですし、それぞれの先生方がおられますので。統合に際しましては環境も変わりますので、その辺ごそと全然変わってしまって、流れがわからなくなるとかいうようなことは避けたいとは考えております。準備期間が、統合がきちっと始まってから有効に活用できますように、現場とも相談しながら進めていきたいと思います。

<陽明在籍 保護者>

統合は決定事項であるかのように聞こえたんですけども。まず、統合は決定事項なのかということが1点。決定だとして平成30年度からかというのが2点目。3点目なんですけど統合の決定に際して、審議会の方では議論されたようですが、審議会では、メンバーを見てみると、このコミュニティの代表の方がいましたが、他は、他の地域の方ばかりで、この地域の立地を必ずしも正確にわかっている方とは思えませんでした。この決定に際して、地域住民だとか、小学校保護者など地域住民の意見を聞く場ってというのは、アンケートなどをやるのかっていうのを伺いたいです。

審議会のメンバーについてですが、審議会の構成は2年間で任期として、それぞれ諮問させていただきながら、進めていっているところがございます。その諮問の内容については、今回たまたま当該地区があたりましたので、そこに住んでおられる方もおられましたし、そうでない地区の方もおられたと思っています。ただ、審議会の目的は、基本的に、できるだけ全市的で客観的な観点から答申をいただくということで進めさせていただいて

おります。

それと「決定か」ということについては、基本的には、教育委員会の基本的な方針・計画としてお示しさせていただいております。ただ最終決定したということではございませんので、今後もし内容に大きな変更要素があれば再検討していきたいと思っておりますが、基本的には、年次的にきちっと計画を立てて進めていきたいと思っております。その中でできるだけ、この計画にご理解をいただけたらと考えています。

地域住民の方とか、保護者の意見を聞く場、アンケートをなぜ予定されてないのでしょうか。質問に対してお答えいただいております。

アンケート等については考えておりません。ご意見等がありましたら、直接学務課にお聞かせいただいても構いませんし、ここで意見を出していただけたらと思います。そういう形で進めていこうと考えております。

<未就学・在籍 保護者>

1歳になる子の育児休暇中に1年生に上がったのですが、学童に入れなかった経験からの質問なんですけど、3年生4年生で移ることになると思うんですけど、緑台小学校では学童に入れなくても何とかやっていけるんですけど、遠くなるってということで、途中から学童に入ることにしたいとなったときの学童の定員とか、そういった配慮といいますか、学童の点について何か決まっていることとか、定員の幅を広げるとか先生の数が増えるとか、そういった内容があれば教えていただきたいです。

留守家庭児童育成クラブに関して、陽明小学校は1つですね、緑台小学校は2つあると思うんです。統合した場合には、その辺を勘案して、留守家庭児童育成クラブを作っていかなければならないなというふうに考えております。担当者が本日は出席しておりませんが、地域子ども支援課で検討しているところでございます。できるだけ、たくさんご利用いただけるように、努力していきたいと考えております。

ただ、4年、5年、6年と広げていくことについて、なかなかハード面が追いついていない、そして人間的にソフト面も追いついていないという、現実があるかと思うんですけど、統合に際しては、その両方が合わさったクラス数が必要であるというふうに認識はしておりますので、できるだけご希望に添えるように取り組んでいきたいと考えております。

<地域の方>

今度、計画としては陽明小に統合されるという方向ですが、現状、陽明小地域はかなり交通量が多くて、危険な箇所という認識が私にはあるんですけど、30年度といいますと高速道路が開通されて、抜け道等に使われる可能性があるかと、今回計画を進めるに当たって例えば警察と協力をし

て、通学路の安全を確保するための施策というものが、検討されているのでしょうか。

通学路の関係は、教育委員会学務課が所管しており、仰られた点について注目しています。本日も参考に都市計画図を会場後方に掲示しているんですが、高速道路の計画、それと沿線の路線バスですが、計画図を見ることによっておおよそ把握できます。交通の流れについて、いわゆる抜け道として迂回をするか考えておるんですが、今のところ、このグリーンハイツを通り抜けるより、清和台を抜ける方が、順路としては早いと思われます。こういった抜け道を使われるかは予想の範囲を出ませんが、今のところ、この交通状況が危険だという点について、学校と警察との通学路の検討委員会というのがありますので、検討していきたいと考えています。

現状でも危険な状態であるということを前提で検討願います。

<未就学 保護者>

校区外申請手続きの特例措置の確認をさせていただきたいのですが、これは、5%の範囲外で入れるのか、制限なく希望者は全員受け入れるのか、分かりにくかったので、もう一度伺いたいのですが。

校区外の申請は、一般には、5%の制限を加えています。しかし今回の統合の件についてはその制限を外す方向で検討しています。簡単に言いますと申請どおりにしていただけるということです。

その際に心配しているのが、緑台小学校の方で陽明小学校に皆さん流れてしまって、統合までのこの2年間に1学級になってしまうのではないかとということと、また校舎が変わったり通学路が変わったりストレスがあるとは思いますが、さらに人数が少なくなって、少人数で新しく入っていかねばいけないというストレスまで加わってしまうのではないかなという心配がありまして、受け入れる陽明さんが仲良く、温かく迎えてくださるというふうに思っているんですけども、2年間も1学級になってしまう可能性の中でそのケアっていうのも考えてくださっているのかなあという心配があるんですが。

私どもも緑台小学校にこの内容をご案内したら、いっぺんに流れができるのではないかと考えました。今のところですけども、そういう大きな流れになっていないということが1つあります。また仮に単学級が出来た場合、状態として単学級ができることは望ましくないと考えていますが、その場合は違うフォローの仕方でもって限定的に1年か2年間は対応するようにしたいです。つまり、補助の先生であるとかそういったことで緑台小学校にストレスが残らないように対応したいと考えています。

<未就学 保護者>

校区がすごく広がると思うんですが、歩いて通うのがしんどい場合、バス通学っていうのは、自己負担なら認めてもらえるってことですか。

はい、その予定でございます。今までは、学校判断ということでケース・バイ・ケースで公共交通機関を使っております。

それは、28年度からですか。

実施年度は検討の余地がありますが、実例としまして、公共交通機関を使っておられるお子さんも中学校ではあるんです。その場合は、認めておりますので、無理な話ではないと考えています。実施の方向で相談させていただきます。

小学校は、集団登校っていうのがあると思うんですけど、バスの場合はどうなるのかなっていうのは？

近隣の方が、同じようにバスを利用される場合は、そこで班編成というのが考えられると思うので、ケース・バイ・ケースかなと思います。利用される方がもし1人であるならばお一人でということも考えられると思います。この辺のところは、まだ学校現場と調整をしていません。

<未就学・在籍 保護者>

30年度からということなんですけども、それを前倒して、希望があれば陽明小学校に行けることになっていると思うんですけど、その集団登校っていうのは、例えば、今緑台小学校で集団登校してるんですけど、1人だけ希望で陽明小学校ってなったときは、その辺のケアっていうか、先ほど交通量や危険な箇所の多いというのがあったと思うんですけど、その辺のケアとかいう方法に関して検討されているかどうかお伺いしたいんですけど。

資料にお付けしている地図がございますね。私どもも交通量の多い道路とか、それから、緑台小が現在使っている通学路、陽明小が使っている通学路を把握しております。今回、緑台小学校のお子さんが陽明小学校に行く場合に最も安全なルートを、この先学校と相談しながら決めていきます。相談があったとき、警察とも連携していくことですので、場合によっては、立ち番も依頼することがあるかもしれませんし、今からできることは、要望を掲げて進んでいきたいと考えています。実際には、今より通学路が変わることが予想されます。例えば、緑台小の場合でしたら、縦に南から北に上がるルートであれば高低差があるのですが、これが陽明小になりますと、いったん、西の方に進まれて、そこから陽明小学校に向えば高低差がかなり少なくなるということがわかっています。このあたりと交通量が少ないっていうのを実際に歩いて私どもも検討しておりますので、またご意見があ

ったら具体的に改良していきたいと、そういうように思っています。

もしご心配でしたら、具体的なご意見を教えていただければ、できることはしていく予定です。

それは、統合後のことであって、統合前に一人だけ行くとかいうとき、たとえば、どこかで合流するとか、そういうふうな取り組みとかいうのはないんですか。学校までこの道通って、1人で安全だから来なさいってということですか。

1つは、統合前にそういう形をとりますので、通学路も同時に見直していかないといけないということと、集団登校それぞれで、集まる場所とか班編成があると思うので、その辺を学校現場と確認しながら、どこで集合したらいいのか、どの班に入ったらいいいのかというのは、具体的な場所がありますので、個別の状況を踏まえつつ、できるだけ集団登校できるような形で進めたいと考えています。

<地域の方>

私、学校協力員をしておりまして。帰りね、下校時、これは今ね、本当にバラバラなんですね。公園で遊ぶ子がおるし、一人とぼとぼ帰る子も多い。だから通学路が距離が長くなることを大変心配しております。だからやはり、皆であげてね、子どもたちを守るということにもっていかないと。今の学校を見ておると非常に少ない数でやっておりまして、今後何人立つとかロングランで考えていただければありがたいなと思います。

終了